

其後ノ状況ニ関スル件 (第一)

鏡山側ノ協賛團體ヲ組合加盟者トシ、組合員ノ糾合ヲ  
夫々完キフテ、下ノ屢夜ノ通りナルカ (改正正書)ニ返致ス  
其ノ後ノ状況左ノ如ク

一、鏡山側

川第一回創立委員會

又日午後七時ヨリ鏡山俱樂部ニ鏡山側庶務課長ク  
由義三郎外十名鏡山側選出委員大森和幸、山田  
雄外十三名會合シ久保田義二郎委員長トシテ在座  
席ニ就キ鏡山側提案ニ條々別紙ニ生野鏡山協賛會  
自設立委員會規則ヲ審議シ異議ナクノ決次ス  
鏡山共済會規則ニ付道條審議ニ移リタルカ鏡山側  
委員ヨリ左ノ質問アリ

鏡山側亦之ニ應答シ午後十時頃而テ散會

夫委員中ノ半極鏡山和松又右内大森和幸、山田  
太郎等ハ曩ノ委員選舉方法ハ單ニ形式的ニ流シ實際  
ニ於テハ全員(半極鏡山八名)ヲ代表シ居ラレ感有リ以テ  
一為各員ニ報告シ協賛スル旨ヲ述ベタリ

内第一条ノ入否ハ絶対的ノモノナヤ

鏡山労働者全員ヲ以テ組織スルモノナルヲ以テ當然入否  
スル義務アルモノトス

内第十三条ノ議決ノ効果如何

鏡山側ハ議決ヲ尊重シ相當効果アラシムヘク努力スル  
考ヘタリ

内第二十条ニ反リ除名セラレシ場合ノ処置如何  
除名セラレシモノハ解雇スルノ外ナカレヘシ